



2021(仏暦2564)年 5月号 (第116号)

万行寺寺報

Mangyoji Jihō

発行
浄土真宗本願寺派 万行寺
住職 山崎信充
〒385-0003
長野県佐久市下平尾4 6 1 - 1
電話 0267-67-2460



■住職法話

親の心子知らず

■浄土真宗 (新) 仏事のイロハ

■本願寺の本

かんのんぼさつ げしん しょうとくだいし
観音菩薩の化身 聖徳太子

■編集後記

年忌法要表

1 周忌	2020(令和 2)年	23回忌	1999(平成11)年
3 回忌	2019(令和 1)年	25回忌	1997(平成 9)年
7 回忌	2015(平成27)年	27回忌	1995(平成 7)年
13回忌	2009(平成21)年	33回忌	1989(平成 1)年
17回忌	2005(平成17)年	50回忌	1972(昭和47)年

住職 法話

親の心子知らず

今月の法語

己おのに願ねがいはなくとも
願ねがいをかけられた身みだ

法語カレンダーの副読本「月々のことば」(本願寺出版社)によると、今月の法語は、真宗大谷派(東本願寺)の僧侶である藤元正樹先生の著書「願心を師となす」(東本願寺出版)に出てきます。その著書の中に、先生は、どのようなものであっても何らかの願いを受けて生きていくことを、

こんな人がと思っても、こんな人はどうにもならんやないかと思うけれども、その人の母か、その人の父か、その人の奥さんか誰か知らんけれども、その人間が生きていくということは誰かの願いを受けて生きとるんです。己に願いはなくとも願いをかけられた身だということと述べられています。

私の娘も早いもので小学四年生になり、難しい年頃になって、ああしたいこうしたいと親に対して口答えが増えてきました。我が家は、朝に夕に口喧嘩くちげんかが絶えない騒がしい生活を過ごしています。

そのような生活をしていると、ふと思うことがあります。子の行動に対して親が注意するのは、しっかりと欲しいという親の願いなのです。反して子は自分がしたいことを一方的に主張してくるばかりです。ですから治まりがつかえません。そこで、親から理由を話し諭さとされると納得するものです。「親の心子知らず」という言葉もあるほどです。



浄土真宗

⑧ 仏事のお仏壇を引くと

「一、お仏壇のお飾り

— 仏さまを仰ぐ —

「二つのお仏壇」

実家のお仏壇を引きとってよいのか？

昔ならば、何代にもわたって住んでいた家も、今では一人住まいであったり、核家族であったり、時には三世同居であったりと、形はさまざまに変わってきました。

そんな状況ですから、お仏壇のない家も多く、また逆に、一軒の家でお仏壇が二つになっってしまうケースも出てきます。

一人娘で他家に嫁ぎ、実家の両親が亡くなって、実家の

お仏壇を引きとらねばならなくなつた場合などです。嫁ぎ先の家のお仏壇と二つになるわけですが、同じ宗派のお仏壇であれば一つだけにして、もう一つは手次ぎのお寺や仏壇店を通して処分してもらつても差し支えないでしょう。その際、お寺さんに来てもらつてお勤めをし、「ご本尊はお寺さんに引きとっていただくようにしてください。また、家の過去帳があれば残しておき、もう一つのお仏壇で、命



日などに開けて亡き人や先祖を偲ばれてけっこうです。

もとよりお仏壇は、分け隔てなく救ってくださる仏さまを仰ぐところです。特定の人の専有物ではなく、家族みんなで手を合わせるのが本来の姿です。しかし、お年寄りと同居する際に、長年、慣れ親しんだお仏壇を持つてこられた場合などは、お仏壇を処分せず、お年寄りが以前と同じようにお給仕されるのがよいでしょう。この場合、一家に二つあつても何ら不都合はありません。

悩まれるのは、宗派が違うお仏壇が二つになる場合でしょう。

しかしこれも、今、住んでいる家族が心を一つにして、同じご本尊を仰ぐのが望ましいことですので、原則は一つ

でよいでしょう。「俱全一処」(ともに一つの処で会う)の境地です。

但し、これは信仰の問題でもありませんので、異なる宗派のお仏壇でお参りしたい人がいるのであれば、その人がお給仕とか責任を持つて行つてもらつたことを確認し、お仏壇を残せばよいでしょう。家族一人ひとりの生きる依りどころとしてご本尊があり、お仏壇があることを念頭に入れ、判断されることが肝要です。

ポイント

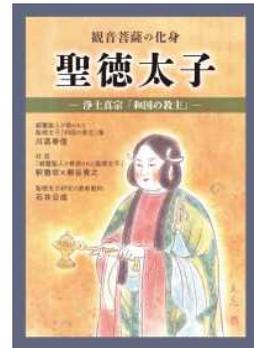
- ▼お仏壇は一軒に一つでよい
- ▼しかし「二つあってはいけない」とこだわらぬのも問題

「浄土真宗 ⑧ 仏事のお仏壇」末本弘然著／本願寺出版社刊より

～本願寺の本～

観音菩薩の化身 聖徳太子
一浄土真宗「和国の教主」

本願寺出版社刊 880円(税込)



仏法僧の三宝を篤く敬い、『憲法十七条』を制定したことで知られる聖徳太子。親鸞聖人は、聖徳太子を観音菩薩の化身として尊崇されていました。

親鸞聖人はどのように聖徳太子を敬われたのか。

聖徳太子のご生涯とご事蹟に触れつつ、今一度、「和国の教主」聖徳太子に思いを馳せる一冊。(本願寺出版社ホームページより)

万行寺もそうですが、一般に浄土真宗のお寺には、聖徳太子のご影があります。なぜ、ご影を掲げるのかということがわかる一冊です。

親鸞聖人御誕生850年 慶讃法要
立教開宗800年

Joint Celebration

850th Anniversary of Shinran Shonin's Birth & 800th Anniversary of the Establishment of the Jodo Shinshu Teaching

法要期日

2023(令和5)年

第1期 3月29日(水)～4月3日(月)
第2期 4月10日(月)～4月15日(土)

第3期 4月24日(月)～4月29日(土)
第4期 5月6日(土)～5月11日(木)
第5期 5月16日(火)～5月21日(日)

毎月16日はShinran's Day
親鸞聖人のご命日です ご参拝ください

浄土真宗本願寺派
龍谷山 本願寺

編集後記

夏も近づき、蓮の花が咲き出す頃です。蓮は仏教に欠かせないお花です。◆新型コロナウィルスのワクチン接種が少しずつ広まってきました。しかし、今度は接種するかしらないかという問題があるようです。副反応などを考えて、今の生活を継続していくという方もおられるようです。判断に悩むところです。◆今月号の発行が遅れ誠に申し訳ございません。お読み頂く方、そして発行者としても、この寺報を通して仏さまの教えにふれ、気づかされることが多くあります。慌ただしい中でも続けていくことが大切です。